

竹原市収受
竹 第 号
01.8.26
年月日
資料様式第3号

議 長	副議長	局 長	局長補佐	係 長	局 員
					

令和元年 8月26日

議員(視察・調査・研修)結果報告書

議員氏名下垣内 和春



研修名 場所	市町村議員研修 (一年生議員のために) 全国市町村国際文化研修所
期 日	令和元年 8月 7日 ~ 令和元年 8月 8日
経 費	33,270 円
受講者名	下垣内 和春
研修目的	・地方議員としての大切なルールを確認し、議員として理解しておくべき基本事項について学び、議員としての責任や役割について考えこれからの議員活動を支える基礎力を養う。
内 容	8/7 ○講義「地方自治制度と地方議会」 ・現行の地方自治制度における議会の位置づけや地方議会の制度上の基本的事項について ○演習 「意見交換」 ・講師 静岡県立大学経営情報学部 小西 敦 8/8 ○講義「議会と議員」 ・地方議会や地方議員に関わる基本的事項について ○講義「議員の身分と職責」 ・地方議員として理解しておくべき、権利や規約、議員活動において留意すべき事項について ○演習 「議会活動について」(意見交換・質疑) ・講師 全国市議会議長会調査広報部 副部長 本橋 謙治
効果・成果 等	・初当選後1年未満の議員を対象とした研修に参加し、地方自治制度、議会、議員の基本的事項について学び、これからの議員活動を支える基礎力を養うことができたのは大きな成果だった。 演習では、小グループで情報交換・意見交換を行い、講義で学んだことや1年目の議員として感じている議員活動についての課題や疑問について講師の先生の助言をいただき、知識の定着を図ることができた。 地方議員として、初めての議員活動を進めていくうえで、期待される役割を十分に果たすために、この研修で学んだ議員としての職責や留意すべきことを理解し、議員活動を行っていききたい。 また、講師 名誉教授中邨 章先生の講義「地方議会の活性化と議員の役割について」を受ける機会を得られるようにしていきたいと思う。

※ 実施後1ヶ月以内に報告する。

令和元(2019)年度

# 市町村議会議員研修 [3日間コース] 1年目議員のために

地方議員として、初めて議会活動を進めていくうえで、期待される役割を十分に果たすためには、地方自治制度などの理解に加え、議員としての職責や留意すべきこと等について理解しておく必要があります。

この研修では、地方議員としての大切なルールを確認し、議員として理解しておくべき基本的事項について学びます。そのうえで、議員としての責任や役割について考え、これからの議員活動を支える基礎力を養います。

## 研修の ポイント

- 初当選後1年未満の議員を対象とした研修です。
- 地方自治制度、議会、議員の基本的事項について学びます。
- 全国の市区町村議会議員が集い、情報交換や意見交換を行います。

## 開催要領

**日程** 令和元(2019)年8月7日(水)～8月9日(金) (3日間)

**場所** 全国市町村国際文化研修所 JR京都駅より湖西線約15分 唐崎駅下車徒歩約3分

**対象** 市区町村議会の初当選議員(当選後1年未満(研修開始日現在))の皆様  
3日間全日程をご受講いただける方を対象とします。途中退所や一時帰庁はできませんのでご注意ください。

**募集人数** 60人 募集人数を大幅に超えた場合は、申込期限後に抽選等をさせていただきますので、予めご了承ください(市区及び町村の区分における申込者の人数により、受講者の人数を按分して抽選、決定します)。なお、受講者の決定については、他の研修、セミナーの申込み・受講の有無にかかわらず、本研修単独で行います。

**宿泊** 研修所宿泊棟(宿泊型研修) ※外泊はできません。

**経費** 9,850円 左記金額は、研修、宿泊、食事(朝食2回、昼食2回、夕食2回)、資料等にかかる費用です。なお、事前準備・事前学習および最終日の昼食にかかる費用は含まれておりません。

**申込期限** 令和元年6月19日(水)まで

**申込方法** 議会事務局を通じて、JIAMホームページ内「研修Web申込みフォーム」からお申し込みください。  
「Web申込み」が難しい場合は、受講申込書により議会事務局を通じてFAXでお申込ください。  
※受講申込書は、議会事務局に送付しております。  
またJIAMホームページの書類様式集(<https://www.jiam.jp/doc/>)にも掲載しております。

**受講決定** 受講の可否については、開講日の約1か月前までに通知をお送りします。  
経費納入方法等の手続きについては、受講決定通知書によりお知らせします。

**事前課題** 研修受講にあたって、事前課題に取り組んでいただく予定です。詳細は受講決定通知書送付時にお知らせします。

● 問い合わせ先 ●

公益財団法人 全国市町村研修財団 全国市町村国際文化研修所(JIAM) 教務部

〒520-0106 滋賀県大津市唐崎二丁目13番1号 TEL. 077-578-5932 FAX. 077-578-5906

[e-mail] kenshu@jiam.jp [ホームページ] <https://www.jiam.jp>

竹原市 収 受
竹 第 号
02.2.-3
延滞期間 月 日
分割記号

資料様式第3号

議 長	副議長	局 長	局長補佐	係 長	局 員
					

令和2年 1月30日

議員(視察・調査・研修)結果報告書

議員氏名下垣内 和春



場 所	新大阪丸ビル別館 5階
期 日	令和2年 1月 20日 ~ 令和2年 1月 21日
経 費	72,120円
受 講 者 名	下垣内 和春
視 察 ・ 調 査 的 目 的	率直に語る地方議員に関するお金の考え方 質問方法スキルアップ研修初級編 質問方法スキルアップ研修応用編
内 容	講師 高橋 伸介 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 政務活動費の改革</li> <li>・ 報酬審議会で議論しても横並びのわけ</li> <li>・ 議員年金をあらためて考える</li> <li>・ 地雷を踏むな。使途基準の考え方</li> <li>・ 財務相にねらわれる議員定数の今後</li> <li>・ 質問レベル4段階</li> <li>・ 質問の注意点</li> <li>・ 一般質問と議案審議の何が違うのか</li> <li>・ 議会答弁への対応ケーススタディ</li> <li>・ 行財政改革の質問を16年してきました・これからの質問の考え方</li> <li>・ 質問や議会活動で自治体はどう導いていくか</li> </ul>
効 果 ・ 成 果 等	政務活動費は先払いから後払いへ、本市はネットの公開はしている 講師の先生の話聞き、財政についてもっと学びたいと思える研修であった。 質問方法スキルアップ研修では、一般質問に望むには多くの情報と関連事項を学び、今後の市政の発展につなげていかなければならない。 今回の研修で学んだことを生かし、検討するとされた答弁の内容について質問にとどまらない質疑を行い、課題解決に向けていけるように質問方法のスキルアップを図りたい。

※ 実施後1ヶ月以内に報告する。

率直に語る地方議員に関するお金の考え方



2020年1月20日 in 大阪

2020年2月14日 in 博多

講師 高橋伸介

## ポイント

### ○地方議員報酬・議員定数・政務活動費・年金問題を正面から考える

- ・活動原点として直接選挙による4年間の仕事と、議会内、行政内における環境醸成の必要性
- ・政務活動費が絡む事件を分析してみる
- ・2014年6月に発覚した兵庫県議野々村氏の事件を掘り下げて考える
- ・政務活動費を先払いから後払いへ、同時にネットでの公開を進める
- ・政務活動費、枚方市議会の流れ
- ・政務活動費月額1万円以下の今後の処遇
- ・京都市会政務活動費運用基準の説明
- ・基準は裁判結果で変わらざるを得ないときがある。但し、裁判官も地方政治に精通しているとは限らない
- ・議員報酬については特別職非常勤の性格から地方自治法203条の変遷を深読みする
- ・議員活動、議会活動、政治活動、選挙活動の言葉の定義を熟考し違いを説明できるようにする
- ・三重県議会の取り組みを参考にする
- ・類似団体横並びから、その議会にあった独自の基準作りへ
- ・議員定数については「会議」に必要な人員から定数を検討する
- ・大森 彌氏、江藤俊昭氏の考え方から必要な人員を考える
- ・議員年金については厚生年金案を元に議員の活動実態を検証する
- ・集約化・多様化の流れとして町村議員の兼業制限緩和の流れも

# 質問方法スキルアップ研修 初級編



2020年1月21日 in 大阪

2020年2月15日 in 博多

講師 高橋伸介

## ポイント

### ○議会質問の基礎基本と行政が「なるほど」と思うポイントについて

- ・活動原点として直接選挙による4年間の仕事と、議会内、行政内における環境醸成の必要性
- ・理事者席に座っている25年以上の行政のベテランが相手であるという認識を持つ
- ・標準議会会議規則と当該議会会議規則を理解する・・・ほとんど同じの事が多い
- ・議会基本条例で変わるところ
- ・議会質問における一般質問と議会質疑の違いを徹底的に理解する
- ・運用上、常任委員会質疑ではレンジを広く運用している議会が大半
- ・質問スタイルをレベル1からレベル4まで4つに分類し説明
- ・質問に先立ちヒアリングの重要性 質問貯金箱を作る
- ・執行部や職員の方がより多くの情報を持っている どう引き出すか
- ・可能な部分は執行部と調整を図る バイアスをかけないよう心がける
- ・重要な質問は角度を変え議会ごとに質問を行う 個人で行う波状型と会派内でのリレー式
- ・リソース RESAS (Regional Economy (and) Society Analyzing System) の可能性
- ・市長を3つに分類し質問スタイルを変えてみる
- ・執行部から一般質問に求められるものを考える
- ・調査なくして発言権なしと心得る
- ・議会運営に当たって「禁止」されていなければ「独自の解釈」で行う
- ・日本国憲法第92条「地方自治の本旨」を再考する

# 質問方法スキルアップ研修 応用編



2020年1月21日 in 大阪

2020年2月15日 in 博多

講師 高橋伸介



## ポイント

### ○より執行部に対して有効な質問の仕方とは

- ・理事者席に座っている25年以上の行政のベテランが相手
- ・活動原点として直接選挙による4年間の仕事と議会内、行政内における環境醸成の必要性
- ・初級編のおさらいとして議会質問の基礎基本を確認
- ・新規事業立ち上げに学ぶ質問骨子の作り方
- ・あらゆる「やり方」(質問作成)にも通用するPDCAサイクル
- ・議会運営はPDDCAサイクルの流れ、質問作成にも応用
- ・財政破綻寸前の自治体が議会質問をテコに行財政改革を進めた例
- ・今後の議会活動を見据え「反対」を「指摘・改善」に留め、「賛成」することも考える
- ・首長側から議会へ仕掛けられた例
- ・福祉増進を目標とする選択と集中に関する質問
- ・戦略的に重要なものとそうでないものに対するファシリテイメント系の質問
- ・事務事業精査を質問に生かす
- ・人口減少少子高齢化時代の質問の注意点
- ・リソース RESAS (Regional Economy (and) Society Analyzing System) による見える化
- ・優秀な市長からみた、良い質問について「なるほど」と感じさせる
- ・議会質問に正解なし、よりマシな方向へ合議を尽くす